

各 位



2024年5月15日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：取締役 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

通期連結業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年11月10日に公表いたしました2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び2024年2月9日に公表いたしました2024年3月期の配当予想につきまして、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 通期連結業績予想と実績値との差異

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	19,500	2,200	2,220	1,300	139.21
今回発表予想	19,571	2,282	2,253	1,546	165.32
増減額	71	82	33	246	
増減率	0.4%	3.7%	1.5%	18.9%	
前期実績	20,004	1,724	1,844	1,212	135.11

(2) 差異の理由

IT インフラ関連事業において、2023年10月より株式会社ビジネスサービスが当社連結子会社になったことと2023年11月には株式会社丸正事務器からITインフラ事業を譲り受けしたことなどがMFP（Multifunction Peripheral：複合機（コピー機））の拡販に寄与しつつ、MFPのパートナー販売も好調に推移したことと、ビジネスフォン及びネットワーク関連機器の販売も好調に推移したことで、売上高と利益が増加いたしました。

デジタルマーケティング関連事業におきましては、Cloud CIRCUS の機能追加や継続的な販売チャネルの強化、2024年3月にCloud CIRCUSの一部プランの月額料金を値上げしたことによるMRR（月次経常収益）の増加により、サブスクリプションモデルの売上および利益が好調に推移したことに加え、Cloud CIRCUS 関連の受託開発の受注やWeb制作も増加し、フロー型の売上、利益も増加いたしました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、デジタルマーケティング関連事業が、セグメント利益の大幅な黒字化が叶ったことから、繰越欠損金等によって税金費用が想定以上に減少いたしました。

その結果、連結業績における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても2023年11月10日に公表いたしました業績予想を上回る結果となりました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年2月9日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
期末 1株当たり配当金	48円00銭 (内、記念配当11円00銭)	39円00銭 (内、記念配当11円00銭)	36円00銭
期末 配当金総額	482百万円	—	347百万円
効力発生日	2024年6月24日	—	2023年6月23日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金
(ご参考) 第2四半期末 1株当たり配当金	21円00銭	21円00銭	5円00銭
(ご参考) 年間 1株当たり配当金	69円00銭 (内、記念配当11円00銭)	60円00銭 (内、記念配当11円00銭)	41円00銭

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元重視の姿勢を明確にするとともに、株主層の拡大を図る為、連結ベースの配当性向35%を目処に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、2024年2月9日公表において、1株当たり39円（内、記念配当11円）としておりましたが、当期業績を踏まえ、配当方針に沿い、期末配当を9円増配し、1株当たり48円（内、記念配当11円）の実施とさせていただきます。これに伴い、1株当たりの年間配当金は69円の実施とさせていただきます。

なお、期末配当金（剰余金の処分）につきましては、本日開催の取締役会にて決議を行っております。

以上